

第 27 回(平成 26 年度 第 2 回) 暁木会・神戸大学意見交換会 議事録

日 時 : 平成 26 年 10 月 9 日 (木) 19:00~20:30
場 所 : レストランさくら

【出席者 (敬称略, 順不同)】

暁木会 : 畑, 河村, 中山, 芦田, 伊賀, 山下, 矢野, 小川 (8 名)

大 学 : 藤田, 芥川, 井料, 川谷, 森川, 内山, 小林, 三木, 四辻, 加藤 (10 名)

【配布資料】

資料 1 : 第 27 回 (平成 26 年度第 2 回) 暁木会・神戸大学意見交換会 議事次第

当日配布資料 1 (暁木会側へ) : 『工学部・工学研究科ファクトブック I』(強み・特色編)
(市民工学科関連)

当日配布資料 2 : H26 第 2 回 意見交換会 教室からの報告事項・審議事項

当日回覧資料 (暁木会側へ) : 『工学部・工学研究科ファクトブック I』(強み・特色編)

【議事】

1. 暁木会会長挨拶

第 27 回暁木会・神戸大学意見交換会の開会にあたり, 畑会長より挨拶がなされた。前回の意見交換会でも話題に上がった, 若い会員に同窓会へ関心を持っていただくことが大切であり, 今後, 我々と感覚の異なる若い世代と時代に合わせた形に融合させて交流を行ってゆく旨が述べられた。

2. 市民工学専攻長挨拶

第 26 回暁木会・神戸大学意見交換会の開会にあたり, 藤田専攻長より挨拶がなされた。意見交換会前に実施された, 海外派遣の学生の発表が満足のゆく内容であったこと, また, 当人にも刺激になるので, 今後もこのような試みを継続してゆきたいとの趣旨が述べられた。また, 前期にプロジェクトマネジメント, 創造思考ゼミナール I で暁木会から多大なる貢献をいただいたことに対し, 改めて感謝の意が表明された。さらに, 大学としてスーパーグローバル校に採択されなかったが, 明後日の専攻長選挙を経て専攻全体として心機一転し, 今後も頑張るべくゆきたいとのコメントがなされた。

3. 乾杯

河村副会長の挨拶ののち, 乾杯が行われた。

4. 自己紹介

配布資料の名簿に従って暁木会側, 教室側の自己紹介が行われた。

5. 教室からの報告事項・審議事項

(1) 教員セミナーについて

加藤准教授より, 現在, 第 1 回目のセミナーが行われたこと, また, 特許・共同研究に関連した内容も含まれているので, 教室関係者のみに公開する形で今後, 開催してゆくこ

とが報告された。

(2) 暁木会名簿への教職員の自宅住所掲載の見直しに関して

加藤准教授より、教職員の自宅住所掲載に関して、今後、希望者のみを掲載するなど、個人情報保護法に配慮した形で掲載することを、検討していただきたいとの説明がなされた。中山幹事より、現在、暁木会名簿には過去に在籍した教員も含めた、住所・電話番号が記載されている状況が説明された。また、現在、教務・KTCを通じて卒業生の会員の情報が得られているが、その場合は、掲載拒否を選択できることが説明された。ただ、今回の印刷分は校正段階に入っているが、今月中に掲載拒否を希望する教員が分かれば対応したいとの説明がなされた。加藤准教授が希望教員を取りまとめて連絡することとなった。

(翌日、中山幹事から、今回の名簿は概要版であり、教職員の住所は掲載されないという連絡がなされた。また、希望する教職員の自宅住所を掲載しない件に関しては、次回の本格版印刷時への申し送り事項とすることが伝えられた。)

(3) 『工学部・工学研究科ファクトブック I』(強み・特色編)への掲載資料について
藤田専攻長より、『工学部・工学研究科ファクトブック I』(強み・特色編)の内容が説明され、現在、市民工学科の著名な卒業生に関する内容が手薄なため、それに関する情報を暁木会から提供いただきたいとの要望が伝えられた(情報の更新は10月末が締切)。

5. 暁木会からの報告事項・審議事項

(1) 年間行事予定

山下幹事から、資料に従って、以下のような今後の行事内容が紹介され、説明が加えられた。

- 10/25 ホームカミングデイ
- 11/5 第131回暁木一水会見学会(八幡トンネル)
- 11月 常任委員会(決算・次年度役員改選等)
- 12/1 暁木会ニュース(No.28)発行、名簿発行
- 12月 役員会
- 1/15 第28回暁木会・神戸大学意見交換会
- 3/1 暁木会ニュース(No.29)発行
- 3/25 暁木会総会

(2) 神戸大学学生との交流について

山下幹事から、暁木会と学生との交流としてこれまで、創造思考ゼミナールⅠの受講生13名と6/20に神戸市役所でセミナーを、また、6/13に兵庫県でも8名の学生とセミナーを開催したこと、さらに、7/25に暁木地盤の会が総勢55名(学生14名参加)で開催されたことが報告された。

(3) 暁木会若手会員との交流についての取り組み

山下幹事から、卒業して間もない若手会員との交流として、11/21に暁木会役員との意見交換をするための交流会を開催する予定であることが報告された。また、畑会長から、以下のようなコメントがなされた。

- ・創造思考ゼミナールⅠの受講生との交流で、90分予定であったが、さらに30分間の質疑・意見交換があった。
- ・現場の話題提供を希望される場合は、積極的に協力させていただきたい。
- ・今回企画した交流会は、カジュアルな新卒者との交流会と位置づけている。連絡については、学年幹事ではなく、神戸市役所に在籍している新卒者の個人的なデータベースを活用した。今後は、卒業時に決めた学年幹事は固定するのではなく、適宜、適任者（神戸近辺の在籍者など）に変更してもよいのではないかと考えている。卒業時の学年幹事より、大学院進学者のほうが横のつながりが多くなり適任となると考えられるが、それは卒業後数年で、各学年で話し合い柔軟に対応すればよいと思われる。（なお、学年幹事の決め方について、その後に意見交換がなされた。）
- ・今回の交流会では、何らかの形で、会費会員への協力もお願いしたいと考えている。なお、今回の交流会に関しては、次回に報告される予定である。

(4) 暁木会ニュースについて

小川幹事より、暁木会ニュース No.28（印刷・WEBバージョン）の目次について以下の説明がなされた。

- 創造思考ゼミナールについては、暁木会ニュース No.27に掲載予定である。
- 教員セミナーについては、一般的な内容を掲載していただく。内容については、喜多教授に依頼する。（原稿締切は11月半ば頃）
- インターンシップについても掲載予定である。
- 予備校訪問についても掲載予定である。
- 暁木地盤の会についても報告予定である
- C26回生の35周年会について報告予定である。
- 現役最前線はC05兵庫県の芝本様に依頼中である。
- 大阪あかつき会活動報告についても掲載予定である。
- 東海支部の総会報告についても掲載予定である。
- 年回費納入のお願いについても掲載予定である。
- 関西国際空港調査会についても掲載予定である。

8. その他：

○森川教授より、2/20に開催される神戸大学工学サミット（市民工学専攻・重点研究チーム合同主催）の内容説明（講演・パネル展示・研究室訪問）と、それに関する参加依頼がなされた。暁木会ニュースに記事として掲載し、WEBにアップしてはどうかとの意見が出された。KTC 暁木会会員に、メールで情報発信してはとの意見も出されたが、KTCメールは多く、「KTCからのお知らせ」とタイトルが付くので発信しても読まれない可能性もあるとのコメントがあった。今後、暁木会の活動に関する情報を、学番メール等を用いて学生に周知してもよいのではないかと意見が出され、今後、同窓会に関する情報発信を実施することとなった。次の暁木会ニュースから、加藤準教授に連絡してメールによる学生への周知を実施することが確認された。

9. 閉会

川谷教授から閉会の挨拶がなされた。

【今後の予定】

平成 27 年 1 月 15 日（木） 19:00～

第 25 回（H25 年度第 3 回） 意見交換会